

1

ROUND

APR 2013

平成25年4月30日発行

RACING PRESS

apan

**2013 SUPER TAIKYU ROUND 1
SUGO**



SuperTaikyū Series 2013

ST

Round 1 SUGO 4/20-21

Editor
吉川綱憲

Photo
鉄谷康博
中村佳史

Cover Photo
中村佳史



今年のスーパー耐久シリーズは菅生を皮切りに海外戦韓国(インジェ)を含むシリーズ7戦が決定となった。国内のビッグレースが続々と開幕戦を迎える中、2年ぶりの菅生開幕戦は3時間耐久レースとなり、レースには45台フルグリッドのエントリーがあり大盛況となった。参加マシンは6クラスに別れての戦いとなり総合優勝を狙うのは一昨年から導入されたGT3クラスだ。他のクラスも参加車両は多種多様で中でも4クラスにはアバルト695が2台エントリー、人気のトヨタ86も4台が出揃った。

スーパー耐久開幕戦は季節外れの積雪で中止に!

エントリー主要マシン

GT3

FIA-GT3がスーパー耐久に導入され3年。今年はシーズンには7台がエントリーを決めた。テスト走行でトップタイムを叩きだしたエンドレスのボルシェGT3に連覇を狙うメルセデスSLS GT3 2台がさらには国産車GT3ニッサンGT-Rが殴りこむ。



PORSCHE 911 GT3



NISSAN GT-R/R35 NISMO GT3



MERCEDES SLS AMG GT3

ST-1

GT3クラスに移行するマシンの影響でいささか寂しくなったが、総合で何処まで上位に食込むかが期待される。

ST-2

三菱ランサーX4台にスバルインプレッサが挑む。圧倒的な早さのRSオガワの3連覇に新菱オートの2台のマシンがチャレンジする。



MITSUBISHI LANSER EVO IX



BMW Z4M Coupe/E86



SUBARU IMPREZA GDB

フルグリッド45台が菅生に集結。決勝は無情の豪雪。

ST-3

昨年のチャンピオンがRX-7が引退したため、今年は日産フェアレディーZに対してGS350、IS350のレクサスの2車種がどんな戦いを繰り広げるかが見もの。岡部自動車3台、TECHNO FIRSTが2台、TRACY SPORTSが2台とチーム争いも激しい。



NISSAN FAIRLADY Z/Z34



LEXUS IS350/GSE21



LEXUS GS350/GRS191

ST-4

かつてない戦国状態となった4クラスはトヨタ86が4台、アバルトが2台と車種も豊富となりホンダワグンメークの印象を払拭、新たなライバル車両が続出で激戦区となった。S2000の最強は続くだろうか。



ABARTH 695/ABA-312142



TOYOTA 86/ZN6



HONDA S2000/APT

ST-5

小排気量ではあるが毎年エントリーが増加する注目のクラス。ヴィッツ5台に最速フィットが挑む。昨年より早急に磨きのかかったデミオが戦況にどう影響するか注目。



HONDA FIT RS/GEB



TOYOTA Vitz RS/NCP91



MAZDA DEMIO/DESFS

TOPICS

NISMO GT3



今年のGT3クラスの話はなんと言ってもプラチナドライバー星野一樹を起用してNISMO GT3を駆ってエントリーしたGTNETチーム。尾本直史、青木孝行は、かつてのGTNETチームで活躍したメンバー。今回不成立となった予選でもトップタイムを叩きだした。

TOYOTA 86



昨年からすでにエントリーはされていたものの、今年は急増の4台が揃った。ENDLESS、コスモニック、ベテラン大井貴之を起用した埼玉ヨベット、さらにトヨタワークスともいえるGAZOO Racingには超ベテラン影山真彦がADドライバーで出場。今回の予選では52号車の埼玉ヨベットGBが他の3車を抑えた。

ABARTH500/695



フィアットクラスラー・ジャパンのサポートを受けて今年から参戦するのはアバルト軍団2台。49号車はワークスカー的存在でシケンシャルミッションを搭載する205psの695アセットコルセ。50号車は6速ミッション搭載の190ps仕様の500アセットコルセ。49号車にはストッカーでお馴染みの福山英夫がドライブ。